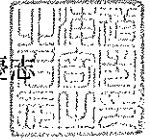


企 名 企 名

平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

名寄市長 島 多慶志



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

標記について別紙のとおり提出します

(企画課)

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

北海道名寄市

○豪雪寒冷の地、北・北海道の道路路盤厚は、雪害を考慮して厚くなっています。しかし路面が凍上により亀裂し又、付帯施設は雪により破損するなど本州には無い被害が発生します。ましてや生活道路の多くは未改良のままであり、日常生活における交通に支障を来たしています。については、道路整備に必要な予算を安定的に確保し、計画的に推進を図られるよう要望します。

○北海道の大都市を除く大半の市町村は、少子高齢化と相まって人口減少が続いています。については、道路の費用対便益を計るにあたっては、医療機関への救急搬送時間短縮や二酸化炭素を吸収する森林面積保有率等についてカウントするよう提案します。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

北海道名寄市

様式②

○現状 本市の道路延長の82%を占める市道の舗装率は、66%と低い現状です。特に市街地の骨格を成す都市計画道路も例外でなく、交通対策のみならず防災、環境、バリアフリーの視点からも整備が必要です。 橋梁は、239橋の内16橋が木橋であり永久橋でも数橋が老朽化のため架け替えが必要です。又、其のほとんどは耐震化に手付かずの現状です。	○課題 地方財政の硬直化と道路補助制度の補助率切り下げで道路整備の進捗率を高めることが難しい状況です。
本市における公共交通機関の中心は、長い間鉄道でしたが名寄本線、深名線の相次ぐ廃止で現在は宗谷本線のみとなり、これを補完するため4社のバス路線が運行されています。しかし、少子高齢化と人口の減少で運行回数が限られているため日常生活では自動車にたよらなければなりません。北海道縦貫自動車道士別剣淵・名寄間と名寄・稚内間の規格の高い道路の早期完成が欠かせません。	現状では完成には相当年数がかかりそうなので、道路予算の集中投資が課題と考える。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②ー２ 地域の目指すべき将来像

北海道名寄市

活カある地域社会を実現するために大きな役割を担っている北海道縦貫自動車道、規格の高い道路として整備中の名寄バイパスの進捗状況を見据えながら国道、道道及び市道の効果的な接続を図り、広域的な道路網の確立を目指すとともに快適で安全な道路環境の創出に努めます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
「高速道路」 旭川・士別釧淵	中央分離帯にガードレールを設置	高速交通の安全性を高める	
士別釧淵・名寄間	早期完成 救急自動車風連出入り口の設置	地域経済活性化 救急搬送	名寄駐屯地の国防、災害出動等の機動力を向上させる
「R40号高規格」 名寄バイパス	智恵文南降り口の設置 中央分離帯にガードレールを設置	地域経済活性化・救急搬送 高速交通の安全性を高める	

北海道名寄市